





# 2歳児クラス 6月 第1回 「ちょっとだけ」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

## シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> <li>下の子が産まれるなど「なっちゃん」の心情と重なる子もいると思います。「お姉ちゃんになってがんばってるね」「ママにだっこうれしいね」などの心情を理解することばをかけながら進行すると良い</li> <li>繰り返される「ちょっとだけ」のことばに対して「いっぱい」と対比させて考えさせてみる。例：「お母さんにだっこ。いっぱいとおよとどっちがいい？」など</li> <li>「なっちゃん」が「お姉ちゃん」になって成長し1人で行動する姿を通して自分の力でできることを皆で確認する。</li> </ul>	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>★絵本</li> <li>★iPad(シアターセット)</li> </ul> ペープサート (なっちゃん)	保育士の役割	
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>保：「こんにちはー」ペープサート持って登場。「なっちゃんお姉ちゃんになったんだー。なっちゃんちに赤ちゃんきたの」と講師と会話。子どもを物語に引き込んでからはじめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペ-プサ-ト持って登場</li> </ul>	 

## がくしゅうタイム

活動①	ねらい	巧緻性	指先を使って紙をちぎることができる	
設定	折り紙をちぎってコップに貼り、美味しいジュースを作しましょう。			
活動内容	講：「何か喉がかわいたね」 保：「美味しいジュースはいかがですか？」とプリントと折り紙を持って登場。	教材 P1 (両面テープ付) 折り紙一人2枚 (ピンク・黄) 皿		
	講：「はい！ジュースください」 保：「はいどうぞ」と空のコッププリントと折り紙を渡す。 講：「？？？コップが空っぽですけど」 保：「そう！今日は自分でジュースを作ってください」 講：「よーし」と意欲的な姿勢を見せて始める。 製作見本①2枚(黄・ピンク)の折り紙提示。色の確認「甘いいちご(=ピンク)、すっぱいレモン(=黄)」などと具体物にたとえ感覚行動を入れながら行う。②キーワード「びりびり」と言いながら両手を前後に動かしちぎる。この時左右に引っ張っても切れない失敗の見本も見せる。また小さくちぎり過ぎる子は時間差が大きく生じがちです丁度良い大きさ「このくらい」と見せながらちぎり皿に入れる。③ある程度の量切れたらコップに貼る 講：「みんなも作る？作りたい人」と子どもたちの意欲をかきたて製作に入る。 保：プリント、折り紙、皿を配る。可能なクラスは少し離れた場所に材料を準備し「ください」「どうぞ」とやりとりをして配っても良い。 指先の力が弱くちぎれない子には紙の端に切込みを入れてあげる。途中、量が多く貼りきれない折り紙片は速やかに回収する。 ジュースが完成したら「みんなでいただきます」とジュースを飲むまねっこ。「どんな味？」など会話。子どもたちのことばを拾っていく。子どものことばを聞き講師、保育士でプリント端に書き留めてあげると良い。 講：「美味しかったね」と賞賛。最後は挨拶「みんなで一緒にごちそうさま」でプリント回収。 ※<活動①>と<活動②>を入れ替えたり、「いただきます」の前に<活動②>を入れる等クラスの状況に合わせて変更可。			保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントと折り紙提示</li> <li>・プリント、折り紙、皿配布</li> <li>・ちぎれない子のフォロワー</li> <li>・残った折り紙片、皿の回収</li> <li>・プリント回収</li> </ul>

活動②		ねらい	生活	雑巾を使って机の上を拭くことができる	
設問	台拭きでテーブルをきれいに拭きましょう				なし
こま	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：「ごちそうさまの後は（いただきますの前に）机をきれいにしましょう」</li> </ul>				教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：あらかじめ濡らしておいた布を提示。広げて机の隅から隅まで大きく拭く見本行動。</li> <li>子どもたちにも布配布。テーブルを拭く。「きゅっきゅっ」「ごしごし」「ぴかぴか気持ちいいね」などの言葉かけをしながら拭く。</li> <li>講：「綺麗になったね」と賞賛</li> <li>保：洗濯バサミのついた意欲ロープを準備し子どもの手の届く高さに保育士と両端を持つなり、どこかに結ぶなり固定し提示。</li> <li>講：「雑巾を干しましょう」と洗濯バサミに止めさせる。</li> <li>洗濯バサミの扱い方が解らない子・指先に力がなく一人では開けない子には個別に指導する。</li> </ul>				さらし布 一人1枚 意欲ロープ ※布は予め濡らして準備しておく
					保育士の役割
					<ul style="list-style-type: none"> <li>さらし布配布</li> <li>意欲ロープ提示</li> <li>洗濯バサミの扱えない子のフォロー</li> </ul>

数子ヤレ		ねらい	比較	数の違う2つの皿を比べ多い方がわかる。	教材
設問	5対3で多い方を指さしましょう。				おはじき 皿
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>5個入った皿と3個入った皿を見比べて多い方を指さす。「ピンポン！」など正解を示して賞賛。</li> </ul>				保育士の役割
					二つの皿を比較させる